



代っ子通信

令和6年9月30日

<第27号>

校長 平塚智康

最後まで全力尽くした運動会

9月21日(土)、運動会が行われました。小雨の予報もある中、子どもたちの元気とパワーで雨雲を吹き飛ばし、雨天時プログラムでしたが、最後まで演技や競技を行うことができました。(オープン種目として徒競走もできました。)今年も9月前半とても暑い日が続きました。そんな中で子どもたちが、一生懸命に応援や団演、団競などの練習に取り組んでいる姿を見ていて、本当に胸が熱くなりました。子どもたちは、最後まで全力を尽くして本当によくがんばりました。子どもたちの一生懸命取り組む姿から、たくさんのエネルギーをもらいました。

保護者の皆様には、雨天時プログラムへの変更等についてご理解を賜り感謝申し上げます。また、後片付けの際も、たくさんの方々にご協力をいただき本当にありがとうございました。



<4~6年生「応援合戦」>



<2年生団演「僕は君のヒーローになる」>



<5年生団演「南中ソーラン」>



<1年生団競「チェッコリ玉入れ」>



<3年生団競「力を合わせてゴールを目指せ」>



<4年生団競「山代タイフーン」>



<6年生団競「思いをつなぐ1本のバトン」>



<オープン種目 各学年徒競走>

赤団団長 ○○ ○○

4年生からなりたかった応援団長になり、夏休みの2日間の練習からみんなと赤団を引っぱれるようにがんばってきました。9月に入り練習が始まると、声の大きさやダンスの仕上がりにプレッシャーを感じ、にげたくなることもありましたが、でも、運動会が近づいてくると、みんなががんばってくれてるなあと感じることが多くなりました。声の大きさはもちろん、旗作りなども積極的に取り組んでくれました。すごくうれしかったです。途中で、私の声が出なくなり、みんなにたくさん助けられました。6年間が一番の思い出になりました。私を赤団の団長にしてくれて、最高の思い出をくれた吉村先生と6年1組、赤団のみんなに感謝です！

白団団長 ○○ ○○

運動会のめあてが達成できるように体育館や運動場でも声が聞こえるようにおもいきり声をだしました。しかし、運動会ではきんちょうしてあまりでなかったからもう少しだしたかったです。

他の学年もみんなおもいきり競技をしていたし、負けてもなんにももんくを言わずにはくしゅをしていたところが心に残りました。また優勝にむかって自分よりも声を出そうとみんなが応援していたことがうれしかったです。ぼくは、この経験を生かして、なにごとにもクラスみんなでいい方向に向かって声かけしたいです。

黄団団長 ○○ ○○

ぼくは応援練習のときに、声がなんでもでなかったときに、副団長のあかりがたくさん助けてくれました。あかりがいなかったらこんなすごい運動会、応援ができなかったと思います。副団長があかりでよかったとあらためてぼくは思いました。それに、休んでなんもおしえてなかったのに、みんなぼくについてくれてうれしかったです。みんながリレーのときに、応援してくれたので、ぼくたちが全力でリレーをできたと思います。それに、ぼくが最後ぬかされなかったら優勝だったのに、みんなが「がんばったよ」と言ってくれてうれしかったです。これからはがんばろうと思いました。



団長の作文を読んでいて目頭が熱くなりました。3人とも団長という大役にチャレンジし、その経験を通してたくさんのことを学び成長できましたね。そして、4～6年生のみんなが団結して団長を一生懸命支えていたこともすてきです。6年生のみなさん、本当によくがんばりました。

「ああ、ぼく（わたし）も、あんな6年生になりたいなあ」きっと下級生たちも、6年生にそんな“あこがれ”を抱いたと思います。

6年生のみんなには、これからは学校生活のいろんな場面で、下級生が目標とするような、すてきな最上級生の姿をたくさん見せてほしいと思います。



<団長 かっこよかったよ！>